

主な活動内容

ミッションは
「移住促進用
プロモーション業務」

移住促進に係る
チラシ等のデザイン制作

プロモーション動画の
撮影・制作

イベント用の装飾品、
グッズ制作

SNS による情報発信



自己紹介



「となりのトトロ」の舞台で
生まれ育ち、
「おもいでぽろぽろ」の山形市へ！

名前 高安 恭介

所属 山形市 企画調整課 移住促進係

着任日 令和5年4月1日

出身地 埼玉県所沢市

前住所地 東京都小平市

前職 イラストレーター（継続中）

映像制作会社勤務を経て、2012年にイラストレーターとして独立。2020年にドイツADC銅、レッドドット最優秀賞を受賞。これまで日本、ドイツ、ドバイ、台湾の出版、広告、学校教科書、パッケージ、カレンダーなど幅広くイラストレーションを提供。山形の食べ物のおいしさに胃袋をつかまれ、美しい風景に心を奪われている。



隊員になっただけ

山形市の空家バンク物件の内覧したい



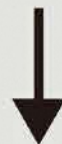
オーダーメイド型移住体験ツアーに参加



山形市にはじめて訪れる（東北自体はじめて）

山形市の風景に感動！

都市部もあって暮らしやすそう！で移住を決意



地域おこし協力隊の募集を知る

山形市の「リアルなすてきさ、暮らしやすさ」

をPRしたいと思い、協力隊に志願

広告、パンフレットの制作



SNS 広告

「オーダーメイド型移住体験ツアー」の SNS 用広告画像を制作。メイン画像では、のびのびとした風景と移住に希望がふくらむコピー、往復交通費と宿泊代が無料という強みを全面に押し出しました。2 枚目ではツアーの内容や写真を見せることでさらに興味がわき、ツアーのイメージがより膨らむよう狙いました。反響は大きく、山形市の移住総合サイトへのアクセス数はひと月で 30,000 回に増加。10 件のツアー参加申し込みがありました。



移住パンフレット

山形市への移住を考える人に向けて山形市の概要、魅力、気候、住環境エリアの説明や各支援制度などをまとめたパンフレットをリニューアル。「楽しく見やすい」をコンセプトに、かたい内容もやわらかく伝わるよう意識しています。山形市だからこその教育の強みや雪国初心者でも安心して暮らせるための知恵袋など昨年度版からページも増えてコンテンツもパワーアップしました。全 20 ページ（表紙、裏表紙含む）



移住相談会バナー

山形市が東京で主催、参加する移住相談会の告知バナーを制作しました。山形市単独の相談会「ヤマガターン」では、座談会ということで参加する職員、スタッフをコミカルに描き、わちゃわちゃとにぎやかな雰囲気を出しています。村山エリアの市町が参加する「やまがた移住カフェ」は、それぞれのテーマに合わせたマッチング型の企画だったので各アイコンをあしらひ、トークゲストを大きくレイアウトしました。

相談ブース装飾品の制作



職員用はっぴ

首都圏でおこなう移住相談会で着るための職員用はっぴを制作しました。「山形花笠祭り」「日本一の芋煮会」「さくらんぼ」といった県外の人からも知名度の高いモチーフにすることで、誰からも一目で山形市だとわかるようにしました。また、県庁所在地ということから山形市のプレミアム感（山形県の一等地！）も演出できるように意識して、黒色の生地には鮮やかなイラストを配置。イベントでも大好評です。



POP 広告

相談ブースを装飾するポップを制作。見た人の目を引きつけ、興味を持ってもらうために山形市の強みをコミカルでキャッチーに表現しました。実際に使用してから、山形市のブースで足を止める人がさらに増え、ほかの自治体からも「参考にしたい」と写真を撮られるようになりました。また、お土産用のおかしを紹介するポップも制作。県外の人に山形のおやつをより知ってもらうことに成功しました。



トートバッグ

移住相談会などで資料をまとめてお渡しする際のバッグをリニューアルしました。昨年のカラーリングが水色（地）に赤だったので、今年は法被と同じ黒地に黄色バージョンにしました。全国規模の相談会場ではコットン素材のトートが多いので、逆に不織布を採用。花笠祭りの踊り子をゆるく、キャッチーに描いています。

情報発信



ヤマガタシティ・グラフィック

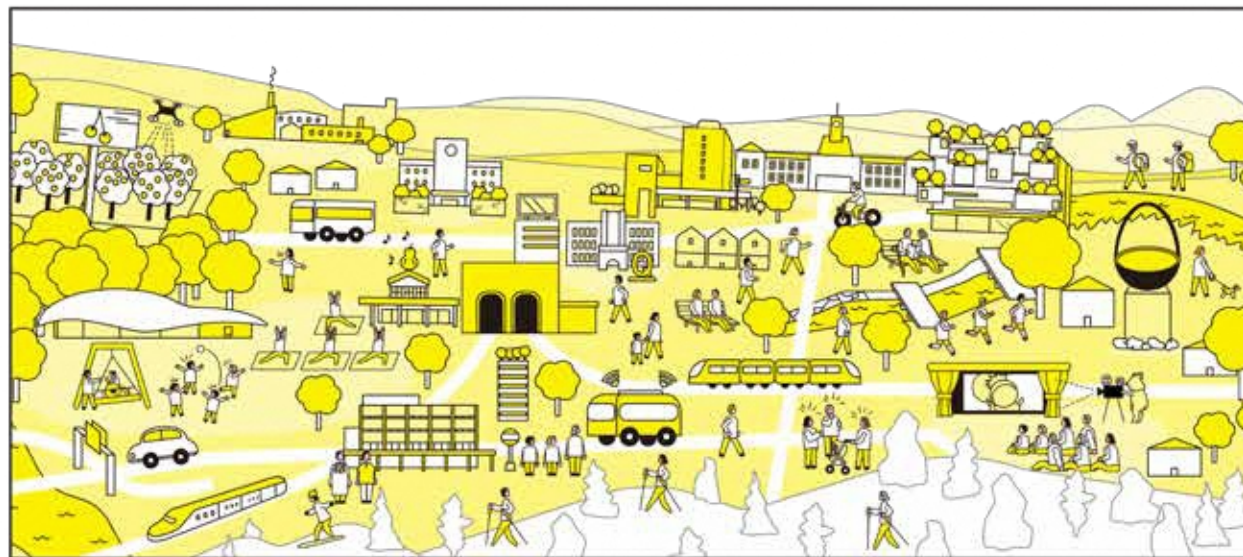
初年度に引き続き、移住者視点で見た山形市での暮らしや魅力をInstagramでグラフィカルに発信中。市の魅力やおどろきの文化・風習のほか、職場で聞いて驚いた方言の紹介、雪国初心者が過ごす冬についての報告、観光やグルメ要素なども盛り込んでいます。フォロワー数は昨年度末から150増え、現在は約740名になりました。まだフォローしていない方は、ぜひこの機会にQRコードからフォローしてください！



イベント登壇

ことし1月に開催した相談会では山形市の移住相談会史上、過去最多の30名を超える来場者数でした。私は先輩移住者として「リアルな山形市暮らし」を話し、その後の相談会にも参加しました。参加者からの相談は「移住に興味があるけど冬が不安」、「雪かきや雪おろしは毎日するのか」、「車がないと生活できないのか」というものが多かったです。SNSでの情報発信も大事だけど、実際にトークで発信する方が情報が相手に届くんだなぁと実感しました。

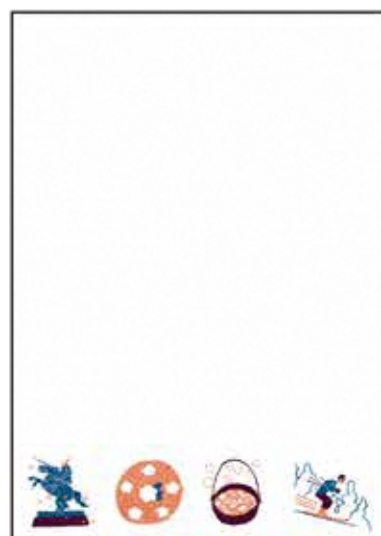
その他



山形市発展計画 2030
表紙、目次イラストレーション



広報やまがた 1月1日号
表紙イラストレーション



メモ帳
表紙、中面のデザイン、イラストレーション



暮らしのガイド 2024
表紙イラストレーション



南くるりん運行実験
デザイン、イラストレーション

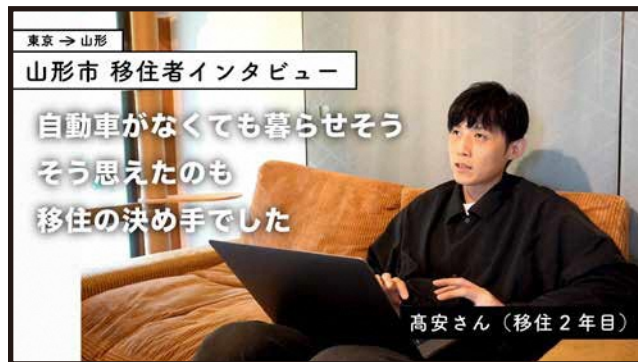


山形市文化財保存活用地域計画
表紙イラストレーション

情報発信

Youtube用動画の制作

youtube チャンネル「【公式】ヤマガターン ～山形市移住～」にアップするための動画を撮影から編集までワンストップで制作。今年度は移住者インタビュー動画2本とパペットを用いたパンフレット紹介アニメーションの計3本を制作しました。パソコンでも上映中ですので、どうぞご覧くださいませ。



【山形市 移住者インタビュー】Vol.1
(07:51)



【山形市 移住者インタビュー】Vol.2
(09:12)



パンフレット紹介アニメーション
(11:15)





1. パネル展のメインビジュアルと受付です。2. 来場者に解説している様子です。3. 来場者に法被を着てもらいました。